Nagoya Urban Institude News Letter

図名古屋都市センター

2014.7 vol. 100



[特集]

世界に冠たる 「スーパーターミナル・ナゴヤ」へ

動き始めた、リニアインパクトを活かすまちづくり

Contents

[特集] 世界に冠たる

「スーハーターミノル・ノコヤ」へ	
動き始めた、リニアインパクトを活かすまちづくり	1~3
PERSON	4
まちづくり活動助成団体紹介	5
名古屋都市センター研究成果	6~7
まちづくり来ぶらり	8
なごやのまち今昔	9
活動報告	10~11
お知らせ	12



名古屋駅周辺と、その地下を走るリニアルートのイメ -

2027年にリニア中央新幹線、東京-名古屋間が開業

車両を浮上させ疾走する超電導磁気浮上方式で、東京-大阪間 を最短1時間強、東京-名古屋間を最短40分で結ぶリニア中央新 幹線。東海旅客鉄道 (JR 東海) は2027年の東京-名古屋間開 業に向け、今秋の着工を目指しています。日本の3大都市が1時 間圏内となり、1つの新しい巨大都市圏が誕生するのです。移動時 間の大幅な短縮は、企業の活動や人々の生活にも大きな影響を与え そうです。

このインパクトをまちづくりに活かすため、名古屋市はこの春「名古 屋駅周辺まちづくり構想」(案)を発表し、7月14日までパブリックコメ ントを実施しています。また名古屋駅東エリアでは高層ビルの建設が 相次ぎ、駅西エリアでも新しいまちづくりの取り組みが芽生えようとして います。着工を間近にひかえたリニア中央新幹線計画の概要、それ をまちづくりに活かそうとする名古屋市や民間の動きを取り上げてみま した。



[特集]動き始めた、リニアインパクトを活かすまちづくり

抜本的なリスク対策として 新幹線を「二重系化」

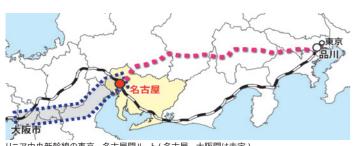
リニア中央新幹線計画の推進には、主に2つの理由があります。

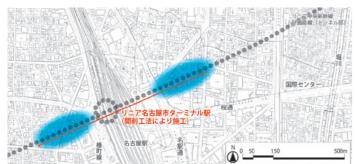
①東海道新幹線は開業後約半世紀が経過しており、将来の経年 劣化への抜本的な備えが必要なこと。

②大規模地震等、将来の大規模災害への抜本的な対策が必要 なこと。

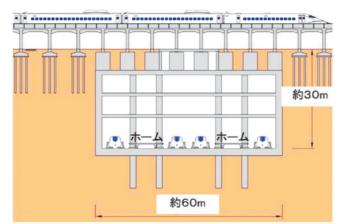
これらについて、JR 東海は、抜本的なリスク対策として新幹線の「二 重系化」と位置づけ、重視しています。

事業計画によれば、超電導磁気浮上システムで車両を約 10cm浮 上させ運行。最高時速約 500km。東京(品川)、名古屋のターミ ナル駅のほか、相模原、甲府、飯田、中津川に中間駅が設けられ ます。国際空港への移動も飛躍的に便利になることで、国際的なビ





名古屋のターミナル駅は、東海道新幹線駅の地下に東西方向に設けられる



ホームは地下 30 mの位置に建設される(JR東海のホームページより)

ジネス、交流、観光の拠点としてもパワーアップが期待されます。

約9兆円の事業費は IR 東海が全額負担。この大きな負担に対応 するため、まず2027年までに東京-名古屋間を整備し開業。名古 屋-大阪間は、名古屋までの開業後、経営体力を回復した上で着 手する計画です。

東京-名古屋間開業時の西の拠点となる名古屋のターミナル駅 は、東海道新幹線の駅の地下に東西方向に設けられます。リニア中 央新幹線の効果を最大限発揮するため、現在の東海道新幹線との 円滑な乗り換えが重要です。そのためホームは可能な限り浅い配置と し、地下約30mに建設。乗り換えの移動時間を3~9分と想定し、 15 分あれば余裕をもって乗り換えられる計画としています。

名古屋市がまちづくりの共通指針を示す

名古屋市がこの春明らかにした「名古屋駅周辺まちづくり構想」 (案) は、行政、民間企業、地元団体など多様な主体が、今後 連携してリニアインパクトを活かすまちづくりに取り組めるよう共通の指 針を示したものです。

まず目標とする街の姿として「世界に冠たるスーパーターミナル・ナ ゴヤ〜国際レベルのターミナル駅を有する魅力と活力にあふれるまち ~ | という言葉を掲げています。これを実現するための基本方針が 次の4つです。

- ①国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す。
- ②誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる。
- ③都心における多彩な魅力を持ったまちをつくり、つないでいく。
- (4)リニア開業を見据え、行政と民間が一丸となって着実に構想を 実現する。

例えば「国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す」 ための取り組み事例として、名古屋を来訪した人が集い、憩い、交 流できる空間を駅前広場やその周辺で確保することを提案しています。 (※イメージパース P3上参照)

また「誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる」ための 取り組み事例として「ターミナルスクエア」(仮称)の形成を提案して います。(※イメージ図 P3中参照)

他のエリアから来た人には動線が分かりにくく、普段利用する地元 の人でさえわずらわしい思いをするのが、鉄道各社の改札や出入り 口が入り組んだ名古屋駅の乗り換えです。この分かりにくさを解消し、 乗換先が一目で見渡せるようにし、歩行者動線の円滑化と案内情報 サービス等の提供も行う広場空間が「ターミナルスクエア」です。こ れを駅の東側と西側の両方につくりコンコースで結ぼうという提案で、 実現すれば駅の東西にあるエリアの交流を促進する効果も期待でき そうです。

またスーパーターミナルのパワーを城下町、超高層ビルなど新旧織 り交ぜた多彩な地域資源とつなぎ、魅力をさらに育てることで世界の 人々が集まり発展していくまちになることをめざしています。

地域特性を活かす名駅西の取り組み

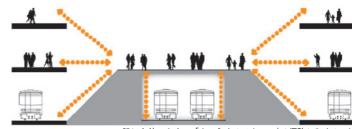
名古屋駅の東側では、すでに新ビルの建設計画が目白押しです。 JR 東海の「JR ゲートタワー」、日本郵便の「JP タワーナゴヤ」、三 菱地所の「大名古屋ビルヂング」は、いずれも高さ200m前後の 超高層ビルです。またリニア開業に合わせた再開発を最大の経営課 題と位置付ける名鉄は、ビルが隣接する近鉄と一体的に整備する計 画を進めているといわれています。

名古屋駅の西側でも、ここへ来てまちづくりの新しい動きが出てい ます。太閤涌口、椿町とも呼ばれるこのエリアは戦後、バラックや闇 市の乱立を経て商店街、問屋街が形成されました。それらの衰退と 並行して予備校や大手流通業、ホテルなどが進出するものの地域と してのまとまりに欠け、駅の東西間で地域格差が広がりました。

そうした低迷への危機感から2012年、地域住民、企業等が「名 古屋駅太閤通口まちづくり協議会」を設立。多国籍な魅力やポップ カルチャー等の地域資源を活かしたまちづくりを進めています。活動 の一環として若者たちによる年1回のイベント「名駅西 TUBAKI フェ スタ」を秋に開催。リニア中央新幹線の着工に合わせ、この秋には 「ウェルカムリニア&祝!!新幹線開業50周年記念 | をテーマに掲 げ開催する予定です。

リニア中央新幹線開業への地域の関心も高まっており、協議会では 「アジア文化交流センタービル構想 | 「国立アニメの殿堂誘致活動 | 等の私案も飛び出すようになりました。2027年に向け、リニア開業を 活かすまちづくりの取り組みはさらに熱を帯びそうです。







リニア開業に向け新たな開発が期待される名古屋駅西エリ

名駅西が日本にとってどんな役割を 果たすべきか考え まちづくりに取り組んでいきたい

名古屋の駅西一帯は、戦後闇市としてスタートがあり、大きな可能性があるということです。この しました。活気があって名古屋市民の胃袋を支え てきたという自負もあります。その後はそれなりに発 展しましたが、全体としては低迷しています。リニ ア開業は100年に1度のチャンスだと考えていま す。駅西地区は単なる中村区への入り口ではなく、 日本にとってどういう役割を果たすべきか考え、ま ちづくりに取り組んでいきたいですね。

す。見方を変えれば駅西の方がまちづくりに自由

事務局長

協議会の体力をつけながら、周辺地域へ連携の

輪を広げていきたいと思っています。

河村 満さん

名古屋駅太閤通口まちづくり協議会

近江商人に「三方よし」という言葉があります。 「売り手よし、買い手よし、世間よし」です。自分 と相手だけではない。地域社会への貢献があっ てこそ価値があるという考え方です。利害がぶつ かりがちなまちづくりで、この考え方を大切にした 駅東はもう開発の余地がないくらい発展していま い。私はこの土地で生まれ、育ちました。今はそ の恩返しをしたいという気持ちで活動しています。

